福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社 RIWB
代表者名	米森　美咲
所在地	福岡市西区周船寺 1-13-38-202
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） –
業種	情報通信業
電話番号	070-9093-0984
ホームページ	https://riwb.org/

Well-being 向上に向けた取組み	私たち RIWB（リウェビー）は、研究開発や自社サービス開発を通して、個人と社会の双方の視点から「Well-being」の実現を目指すことをコンセプトにしている。 そのため、従業員に対して、フルリモート、フルフレックスタイム制を導入しの従業員それぞれの環境に合わせて勤務できる状況を整えている。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート　　事業者名：株式会社RIWB

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み※150文字以内で	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等）が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・プロジェクト参画メンバー15名のうち、女性4名、外国人3名である。 新規採用者についても、日本国内に限らず海外からの応募者もあり、世界中から弊社のプロジェクトに参画し、目標達成できる人材確保に努めている。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・弊社は、経営陣、エンジニア、事務に業務は分かれているが、どの業務もフルリモート、フルフレックスタイム制で行っている。チームごとに稼働しているため、所属するチームの運営が円滑に進む限りにおいて、稼働時間と稼働場所は自由としている。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・経営陣2名体制で、悩みや相談を常に受け付けている。 ・社外メンターとしてメンタルコーチと契約し、必要に応じてコーチングを受けられるようにしている。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・1ヶ月に一度、業務内容や職場環境などについて経営陣との面談を行っている。 ・面談した内容は、給与に反映させている。 ・月に複数回、心理学領域などの勉強会を定期的に実施し、メンタルヘルスの根本的な向上を図っている。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・新規案件に関して、業務量を考慮したうえで、プロジェクトに参画させている。ファシリテーターを設け、プロジェクトのサポート体制を整えている。 ・現在、インターンシップで大学生を6名受け入れている。今後も弊社のプロジェクトに参画してくれる学生は積極的に受け入れていく予定である。				○	○			○	○								
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・データサイエンスやシステム開発で使うパソコンが古くなった際には、他の用途に転用することで、リユースに努めている。 ・最近は、クラウド開発環境を用いることで、物理的機材のリデュースに努めている。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・フルリモート勤務のため、勤務場所は選ばず自宅等での業務を行うことが可能となり、勤務場所への移動が発生しないため、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。							○					○	○				
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・原材料調達の不要なITビジネスを行っている。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・フルリモートでオフィスがないのため、節水については各家庭の努力に委ねられている。						○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・アプリ開発時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・well-being, ESG, SDGs などを評価するための自然言語処理や音声処理のAI開発を、メイン事業の柱の1つとして取り組んでいる。 ・九州大学の研究室と連携を行って技術開発を進めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・法律で定められているものを除き、可能な限りクラウドで管理している。クラウド管理には適切なアクセス権限を設定し、特定の環境下（WiFiなど）でのみ利用するようにしている。 ・契約書等の物理的な情報は、本社で厳重に管理している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令遵守の重要性を従業員に発信している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・月に一度全従業員が参加する全社会を開催し、進捗の確認、経営目標の共有を行っている。 ・経営目標に関して、短期、中期、長期の目標を共有している。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業に必要なデータをクラウド管理することで、災害などの物理的影響を最小限に留めるための工夫をしている。 ・会社の運転資金とは別に、経営陣が独自に積み立てを行うことで、創業期の突発的な出費に備えをしている。 ・事業継承については、創業2年目、平均年齢26歳と									○		○		○			○	